

発行日：令和元年8月

編集・発行：つくば市 政策イノベーション部 企画経営課

◆市長と中学生がまちづくりを語る会が開催されました！

つくば市では、今後10年間の総合的な指針である未来構想の策定にあたり、市長と中学生の皆さんがまちづくりについて意見交換をする会を開催しました。

タウンミーティングと連携した夏休み特別企画として開催された今回は、中学生の皆さんから貴重な意見をたくさんいただいたのでご紹介します。

日時：令和元年8月3日（土）10:00～12:30

会議場所：つくば市役所 コミュニティ棟 1階

参加者：14名（事務局含まず）



◆主な意見交換内容

1. 市長から中学生への質問

市長から中学生の皆さんに「つくば市の魅力は？」、「学校は楽しい？」などの質問が投げかけられ、中学生の皆さんから市長に生の声が伝えられました。

(1) つくば市の魅力は？

- ・ 自然と都市が共存している。
- ・ 国際的な都市でいろいろな国にルーツのある人がいるところ。
- ・ 自然が豊かである。
- ・ 研究施設で一般公開などを行い、その取組を公表しているところ。
- ・ 筑波山から見える景色がよい。関東平野を一望できる。
- ・ 「サイエンスキャスティング」に参加し、研究所を回ったことがある。つくばはすごいと実感した。
- ・ 「ちびっこ博士」に参加してJAXAやつくばエキスポセンターを訪問するなど、子どもの頃から科学技術に親しむことができる。
- ・ 小学校から大学までそろっているが、高校が少ない。

(2) 普段の移動手段は？

- ・ 両親の送り迎えの車が多い。自転車、つくバスは少ない。
- ・ バスの運賃が高い。つくバスと関東鉄道のバスとの乗り換えの検索も不便。



(3) 学校は楽しい？（※各意見は、発言者の在籍校

（市立・県立・私立のいずれか）における授業を前提とした内容となっています）

① 授業は楽しい？

- ・ 学校は友達に会えるので楽しいが、授業はあまり面白くない。
- ・ 面白い授業は全体の3～4割。
- ・ 先生が一方向的に話す授業が多い。
- ・ 授業は単調で流れが一定なので驚きがない。
- ・ 授業の進め方が、板書をノートに写すことに偏っている。
- ・ 電子黒板は画面が切り替わるスピードが速く、ノートをとるのが大変。
- ・ ワークを配布して解かせる授業があるが、先生が先に答えを書いて写すだけになっている。



◆お問合せ◆ 〒305-8555 茨城県つくば市研究学園一丁目1番地1 TEL 029-883-1111

*タウンミーティングに関する質問・意見は、広聴室まで

*教育・学校（本MTにおける意見等）に関する質問・意見は、教育総務課まで

*未来構想に関する質問・意見は、政策イノベーション部企画経営課まで
各項目について、電話又は市HPよりご連絡ください。

1. 市長から中学生への質問（続き）

②どんな授業が楽しい？

- ・板書は行わず、先生から生徒に頻繁に質問がある。
- ・国語の授業のアートアクティブラーニングが楽しい。教科書を読んで、一節を取り出し、グループで議論し発表したりしている。
- ・GoogleのChromebookを使うなど、ITを活用した双方向的な授業が楽しい。
- ・集中する部分と冗談を交える部分の切り替えがある授業が面白い。
- ・教科書に載っていないことをスクリーンやプリントを使って教えてくれる先生もいる。自分次第でよりレベルアップした学びが可能である。
- ・iPadを使う理科の授業が楽しい。一方的な授業だと眠くなる。
- ・みんなで考えるアクティブラーニングが増えるとうい。



③自分が先生ならどんな授業をする？

- ・グループ活動があり、リズミカルにパワーポイントを使い、頭に入りやすくする。
- ・動画やゲーム感覚、班活動などを取り入れる。
- ・グループ活動で考えさせ、板書で理解させる。
- ・関係のない話や趣味の話をつなぎ、飽きさせないようにする。
- ・授業の構成が決まっていて、次にどうつながるかわかるようにする。
- ・教科書に書いてあることを教わって終わりのなので、自分で考えられる授業にしたい。

④どうしたら学校が楽しくなる？

- ・面白い行事を増やし、生徒で盛り上げる。
- ・自分たちで行事を企画したい。企画が成功したら評価されるとよい。
- ・雨が降ると、校舎や体育館、廊下などが雨漏りで水浸しになる。改善されるとよい。
- ・生徒と先生が信頼関係を築き、生徒が責任をもって自由にできるとよい。
- ・授業が面白くなくなると、学校が楽しくなくなる。
- ・生徒と先生で話し合って校則を決められるようになるとうい。

（※各意見は、発言者の在籍校（市立・県立・私立のいずれか）における授業を前提とした内容となっています）

(4) 人生の目的は？何のために生きている？

- ・子孫繁栄。日本全体にとってもよいこと。／自分の大切な人が幸せになること。

2. フリートーク

「学校の話が中心で話しやすかった」、「市長と話せてよい経験になった」、「他校の生徒の話聞いてよかった」などの感想とともに、中学生の皆さんから市長へ質問や意見をいただきました。また、いただいた意見に対し、市長から今後のつくばのまちづくりについてお話しいたしました。

中学生からの主な質問・意見

- ・市民が幸せになるため、どんなことに取り組むのか？
- ・車椅子を押すときに、周りの人が妨げになる時がある。周りを気にするようにしてほしい。
- ・自分らしく生きるとはどういうことか？自分のことがわからない。
- ・ITならではの特徴を活かした授業を工夫してほしい。
- ・みんなが挨拶できる市になってほしい。
- ・タウンミーティングのような催しが各市であると、全国で政治への意識が高まると思う。国民（市民）は政治について理解を深め、愚痴を言うだけでなく改善案を提言するなどの意識をもって発言すべき。
- ・家の近くの歩道に雑草が生えて通れないところがある。不審者が出たりもするので、きれいにしてほしい。
- ・自然が無くなると困るので、都市化をストップしてほしい。
- ・公園がもっとほしい。また、商業施設が閉店しないようにしてほしい。
- ・先生を敵とみなすような生徒はどうすべきか。
- ・つくば市の中高生で協力して、何かやりとげのような活動をやってみたい。自分たちで動くことも大事だと思う。
- ・都市化に伴い緑が減るのはいやだ。今日はつくば市の未来についてもっと話せるとよかった。

市長の回答・意見（一部）

- ・「誰一人取り残されない社会」を実現したい。科学技術で困っている人を救いたい。
- ・他の人の目線になり、他人に想いが向けられるまちにしていきたい。
- ・人生のことを考え、決断し、行動することではないか。自分で夢中になれることを見つけることが大切であり、親の期待に応えることではない。自分を知ることは、他人を知り、社会を知ることにつながる。

